

整理No.	2017-23	労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時	2016年 4月 21日(木) 18時40分 天候(雨) 温度(°C)湿度(%)				
災害区分	不 休 災害		休業災害(休業: 日)		
被 災 者	部門	技術部門		雇用形態 <u>正社員</u> 、派遣、契約、その他(パート)	
	年齢	31歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数 7年	経験年数 4年
	傷病名	切創			
	傷病部位	右手中指			
災 害 発 生 状 況	<p>ペイントシェーカーを使用してガラス瓶に入れた塗料の練合を行っていた。場所をいったん離れ、戻って来たところペイントシェーカーからガラス瓶が外れ、割れて塗料が飛び散っていた。塗料をふき取っていたところガラス瓶の破片で右手中指を切った。出血とともに傷の周囲が腫れたため、念のため病院に行き診察を受けた。</p>		<p>状況概略(写真orイラスト)</p>  <p>↑ ペイントシェーカー本体</p> <p>↑ ガラス瓶の破片</p>		
	災害の型 ^{※1)}	6. 切れ、こすれ		作業の形態: <u>定常</u> 、非定常、その他()	
	起因物: ガラス瓶の破片	特記事項			
	原因分類	<p>1. 人的要因(man): ガラス瓶を固定するナットを締める際、工具を使用しなかったため運転中に緩み、ガラス瓶が外れた。また、ガラス瓶にガムテープを巻くなどの散乱防止対策を取らなかった。</p> <p>2. 物に関する要因(machine): 適切な保護具を装着していなかった(ゴム手袋のみ)。</p> <p>3. 環境要因(media)</p> <p>4. 管理的要因(management):</p>			
対 策	①ガラス瓶の固定方法				
	ガラス瓶を固定するナットは、工具を使用して締め付ける。もし割れた際には、ほうき、ちりとりを使用して、不用意に手を出さない。				
	②手順書の見直し				
対策分類 ^{※2)} : 1-6、2-6					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)